

南つ子



令和7年度学校だより1月号
1月30日発行
延岡市立南小学校 No18
文責：校長 甲斐憲一

外部の人材を生かした授業！

学校では外部の人材を活用した授業を行っています。3年生ではアイマスク体験を市社会福祉協議会の協力を得て、実施しました。アイマスクをして何も見えない廊下や階段を、杖を使いながら友達の声を頼りに歩きました。とても不安な気持ちになったことでしょう。目の見えない方々が如何に大変かということを理解することもできるし、思いやりの気持ちも育った授業でした。

また、4年生では市キャリヤ教育支援センターの支援を受け、パティシエの二見さん、元プロサッカーの富高さん、看護師の尾崎さんが今の仕事の紹介や大変さ、その目標を達成するためにはどんなことが必要かなど、映像を使いながらわかりやすくお話をいただきました。子どもたちは、いろいろな質問を事前に考えたりして、大変興味深く授業に参加していました。将来の夢に向かって、様々な仕事について知ることは大変大事なことですし、そのためにはどんなことを頑張っていく必要があるのかを意識させていくこともキャリア教育の重要な目的です。このような機会を通して、将来の仕事についても興味関心をどんどん高めていってほしいです。家庭でも親の仕事について話をする機会や実際に職場に連れて行ってどんなことをしているのかを見せることもキャリア教育につながります。

グラウンド工事開始

グラウンドの整備が始まりました。今回の工事は新しい遊具や掲揚台の設置とグラウンドの整備等を行うことになっており、長期(3月24日まで)の工事となります。子どもたちが使っていた遊具の撤去の様子を見ていましたが、大型のユニバーサルデザインの遊具を倒す様子は複雑な気持ちになりました。また、長い間南小学校の子どもたちを見守ってきた2本の大きなセンダンの木々も工事のために伐採せざるを得なくなり、伐採や工事安全のお祓いも行いました。これから校舎整備・グラウンド整備で子どもたちは体育館しか遊ぶ場所がなくなり、ストレスもたまる学校生活になり、大変申し訳ないですが、またしばらくの間、我慢してほしいと思います。新しい遊具が揃うグラウンドを心待ちにしてほしいと思います。



【アイマスクを体験する3年生】



【お菓子などの紹介をする二見さん】



【安全祈願の様子】

